

第2学年 国語科学習指導案

児童：2年3組 男子13名 女子13名
指導者：柏崎裕子

1 単元名 一 ようすを考えて読もう 教材名「お手紙」

2 単元について

(1) 教材について

本単元「ようすを考えて読もう」は、登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読んだり、声に出して読んだりしてお話を楽しむことをねらいとしている。本教材「お手紙」は、一度もお手紙をもらったことがないと悲しむがまくんとそのがまくんを元気付けようと手紙を書いたかえるくんの二人の心のふれあいを描いた作品である。「すぐやるぜ。」と手紙の配達を引き受けたかたつむりくんが四日もかかって配達をするという展開もユーモラスである。このかたつむりくんのおかげでかえるくんもお手紙を待つ楽しさを知る。

かえるくんのお手紙によって、がまくんは、すぐ近くにすばらしい親友がいたことに気付き、二人の友情は一層深まるのである。悲しんでいる友達を思い、さり気ない優しさで喜ばせようとする素朴な人間愛の中に見られる善意と、ほのぼのとした温かい友情がこの物語の主題である。

素直で子どもらしさにあふれるがまくんやかえるくんの人物設定は子どもたちに親しみを感じさせるであろう。また、最初「ふたりともかなしい気分」でいるが、かえるくんの出した手紙を通して「とてもしあわせな気持ち」に変わっていく過程は子どもたちは共感的に読み取っていくことができると思われる。さらに、物語は二人の会話を中心に話が展開されていて、その中にそれぞれの人柄が表れているため、人物の気持ちや場面の様子もとらえやすいと考えられる。

親しみを感じさせる登場人物や挿絵、ほのぼのとした会話のやりとりは、子どもたちにとって魅力的であり、二人の心のふれあいを楽しく想像豊かに読むことができる教材であると思われる。

(2) 子どもの実態

子どもたちは、2年生になってから読むことの学習として、物語文「ふきのとう」「スイミー」で、動作化や吹き出しに書く活動を通して場面の様子を想像を広げて読む学習をしてきた。説明文「たんぼぼのちえ」「サンゴの海の生きものたち」では、時間的な順序、事柄の順序などを考えながら挿絵や写真と文章を合わせて大事な事を読み取る学習をしてきた。

これらの学習を通して、想像を広げて読むことや大事な言葉に着目して読むことが少しずつできるようになってきている。

本校の研究である「教材文とのかかわり」では、課題解決にかかわる叙述にサイドラインを引いたり、視写したりすること、大事な言葉から様子や考えたことを書き込みをする方法を行ってきた。大事な言葉に様子を想像して考えを書き込みすることのできる子どもが増えてきているが、読み取りの深さや自分の考えを表現する力については、個人差が見られる。

また「友達とのかかわり」では、一人学びの後にペアで自分の読みを伝え合い、交流した後、全体で話し合いを行っている。自分の考えを発表し合い、友達の考えと同じか違うかをある程度比べられることができるようになってきたが、表現力のある子どもや想像力豊かな子どもたちの発言に偏る傾向も見られる。

(3) 指導にあたって

①教材文とのかかわり

導入の段階でお手紙を書いたりもらったりした経験を子どもたちにたくさん話させ、手紙への関心を高め、本教材の学習に対する意欲をもたせたい。

挿絵に注目させ、場面分けをしたり、場面の様子や人物の気持ちを考えたりする際の手がかりとさせたい。

また、本教材は会話を中心に展開されていることから音読を積極的に取り入れ、場面の様子を想像豊かに読み取らせていきたい。その際、場面の様子や会話の中に込められている人物の気持ちが表れるような音読の工夫をさせていきたい。

「一人学び」では課題にそってサイドラインを引くことや、各場面での中心的な会話や行動の文を視写することにより、叙述に即した読み取りをさせ、使われている言葉や表現に気付かせていきたい。
 また、アーノルド＝ローベルの他の作品を紹介したり、関連作品を自由に読める場を設定したりすることで、読みを広げさせ、読書に親しむ態度を育てていきたい。

②友達とのかかわり

読み取ったことや登場人物の気持ちを想像して吹き出しに書く際には、事前に内容についての考えを交流し、自分の考えをもてるようにしたい。
 ペア学習では、書き込んだ内容を確認し、互いの考えのよさを交流できるようにしたい。全体の話し合いでは自分の考えと比べながらよく聞かせ、友達の考えのよさや表現のよさの気付きを大切にしたい話し合いができるように留意したい。
 まとめの感想交流では、学習でわかったことの他に、友達の考えから学んだことや自分の学習に生かしたいことなどを発表させ、友達と学び合うよさを感得させたい。

3 単元の目標

観 点	目 標
国語への関心・意欲・態度	・がまくんとかえるくんの心の交流を挿絵や表現に即して楽しんで読もうとする。
書く能力	・登場人物にあてて書く手紙であることを考えながら書くことができる。(ア)
読む能力	・場面の様子やがまくん、かえるくんの心情について、想像しながら読むことができる。(ウ) ・がまくんやかえるくんの気持ちがよく表れるように、語や文のまとまり、声の大きさなどに注意して読むことができる。(エ)
言語についての知識・理解・技能	・主語と述語との関係に注意して読んだり書いたりすることができる。(エ(ア))

4 単元の指導計画と評価規準 (15時間 読むこと13時間・書くこと2時間)

段階	時間	○学習の目標 ・主な活動	評価規準 (評価方法)		
			国語への関心・意欲・態度	書く能力と読む能力	言語についての知識・理解・技能
学 習 計 画	1	○ 手紙を書いたりもらったりした経験を発表し合い、楽しく学習を始めることができる。 ・題名から、今まで手紙を書いたりもらったりした経験を話し合う。 ・「お手紙」を読み、おもしろいと思ったところを発表し合う。 ・新出漢字の練習をする。	・自らの経験を話したり、本文中のおもしろいと思う箇所を指摘したりして、楽しく学習しようとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・教材文のあらすじや登場人物の会話や行動に目を向けながら読んでいる。 (発言・観察)	・文章中の新しい漢字や読み替えの漢字を正しく読んでいる。 (発言・観察)

	2	○ 場面分けをし、学習計画を立てることができる。 ・場面分けをし、初発の感想をもとに学習課題を立てる。	・意欲的に場面を分け、学習課題を考えようとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・挿絵をもとにして、場面の様子を時間や場所を考えながら読んでいる。 (発言・観察)	・「誰が」「何をした」か、主語と述語に気を付けて読んでいる。 (発言・ノート)
課題追究	1	○ 場面の様子や、登場人物の心情を想像しながら読むことができる。 ・誰の会話文か考えながら全文を読む。 ・登場人物の会話文を確かめ合う。	・誰の会話文かを見つけようとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・誰の会話文であるかを指摘し、声に出して読んでいる。 (発言・音読・観察)	・かぎ「」の使い方に気を付けて読んでいる。 (発言・音読)
	2 ・ 3	○ 「一の場面」を読み、悲しい気分であるがまくんとかえるくんの様子を想像しながら読むことができる。 ・二人が悲しんでいる様子を読み取る。 ・がまくんの気持ちや場面の様子を想像しながら音読する。	・二人が悲しんでいる様子を読み取ろうとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・二人が悲しんでいる様子について想像を広げながら読んでいる。 (発言・プリント)	・「誰が」「何をした」か、主語と述語に気を付けて読んでいる。 (発言・プリント)
	4 ・ 5	○ 「二の場面」を読み、大急ぎで手紙を書くかえるくんの様子を読み取ることができる。 ・かえるくんの行動を順序よく読み取る。 ・かえるくんの行動を確かめながら音読する。	・がまくんを思うかえるくんの気持ちが表れている行動を読み取ろうとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・かえるくんの行動を順序よく読み取り、様子が分かるように読んでいる。 (発言・プリント・音読)	・「誰が」「何をした」か、主語と述語に気を付けて読んでいる。 (発言・プリント)
	6 ・ 7	○ 「三の場面」を読み、二人の会話を比べながら、二人の様子を読み取ることができる。 ・二人の様子や気持ちを話し合う。 ・二人の気持ちが表れるように音読する。	・二人の対照的な気持ちを会話から読み取ろうとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・二人の対照的な気持ちを会話文に着目しながら、読んでいる。 (発言・プリント・音読)	・「誰が」「何をした」か、主語と述語に気を付けて読んでいる。 (発言・プリント)
	8 本時 8 / 9	○ 「四の場面」を読み、二人がとても幸せになった様子や気持ちを想像しながら読むことができる。 ・二人が幸せな気持ちになった様子を想像する。	・二人が幸せになった様子や気持ちを読み取ろうとしている。 (発言・観察)	〈読む〉 ・二人が幸せになった理由を読み取り、二人の気持ちを想像しながら読んでいる。 (発言・プリント)	・「誰が」「何をした」か、主語と述語に気を付けて読んでいる。 (発言・プリント)
	9	○ 「五の場面」を読み、手紙が届いた時の二人の様子を想像し、音読	・手紙が届いた時の二人の喜びを読み取ろうとしてい	〈読む〉 ・手紙が届いた時の二人について	・「誰が」「何をした」か、主語と述語に気を付け

		することができる。	る。 (発言・観察)	想像を広げながら読んでいます。 (発言・プリント・音読)	て読んでいます。 (発言・プリント)
課題解決	1	○ 役割を決めて音読の練習をすることができる。 ・グループで役割を決め、練習する。	・登場人物の言動や気持ちを考え、楽しく音読しようとしている。 (観察)	〈読む〉 ・今までの学習を振り返りながら、場面や様子を想像して練習している。 (観察)	・会話文と地の文に気を付けて姿勢、口形などに注意してはっきりした発音で読んでいます。 (音読)
	2	○ 発表会をし、感想を交流することができる。 ・グループで音読発表を聞き合い、感想を交流し合う。	・登場人物の言動や気持ちを考え、楽しく音読しようとしている。 (観察)	〈読む〉 ・相手に伝わるように工夫して音読している。 (音読)	・会話文と地の文に気を付けて姿勢、口形などに注意してはっきりした発音で読んでいます。 (音読)
書くことの学習	1 ・ 2	○ 登場人物にあてて手紙を書き、発表し合うことができる。 ・誰にあてて手紙を書くか決める。 ・書く内容を考えて、手紙を書く。 ・書いた手紙を発表し合う。	・書く相手を決めて、自分の思いを手紙に書こうとしている。 (観察)	〈書く〉 ・一人の登場人物にあてて、思ったことを手紙に書いている。 (手紙)	・主語と述語を意識し、続き方や照応に注意している。 (手紙)

5 本時の学習（課題追究 8 / 9）

(1) 学習の目標

二人がとても幸せになった様子や気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 評価規準

【読む能力】

二人が幸せになった理由を読み取り、二人の気持ちを想像しながら読んでいます。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	教師のはたらきかけと評価
課題把握と見通し 5分	1 前時の学習内容を想起する。	・がまくんとかえるくんの様子を対比的に想起させる。
	2 本時の学習課題を確認する。 どうして、ふたりともしあわせな気持ちになったのだろう。	・本時の場面の挿絵と一の場面の挿絵を提示し、がまくんとかえるくんの二人が幸せな気持ちに変わっていったことをおさえ、課題を確認する。
	3 課題解決への見通しをもつ。	・二人の会話や挿絵、手紙文の内容を読み取っていくことにより、学習課題を解決していく見通しをもたせる。
	4 本時の学習場面を音読する。	・二人の会話文に注意して音読させる。(一斉読)

<p>課題追究</p>	<p>5 がまくんに手紙を書いたことを打ち明けた時のかえるくんとがまくんの様子を読み取る。</p> <p>(1) 手紙を待ちきれずにがまくんに手紙を出したことを打ち明けたかえるくんの様子を読み取る。</p> <p>(2) かえるくんが手紙を書いてくれたことを知ったがまくんの様子を読み取る。</p> <p>① かえるくんが手紙を書いてくれたことを知った時のがまくんの様子を読み取る。</p> <p>② かえるくんの手紙の内容を聞いて感激するがまくんの様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんは、手紙のどの言葉がいいと思ったのかサイドラインを引く。 ・サイドラインを引いたところを出し合い、がまくんの気持ちを読み取る。 <p>③ 一の場面の挿絵と比較し、二人の様子の違いを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙が届くのを懸命に待っているかえるくんの様子から、がまくんを早く喜ばせようとするかえるくんの優しさに気付かせるようにする。 ・二人の会話に着目させ、「きみが。」に込められたがまくんの驚き、喜びをとらえさせる。 ・サイドラインを引いたところをペアで比較する。 【教材文とのかかわり】【友達とのかかわり】 ・手紙の中の「親愛なる」「ぼくの親友」「きみの親友」「うれしく思っています」の言葉からかえるくんのがまくんに対する思いやりの気持ちをとらえさせる。 ・予想外の驚きから感激、幸せな気分へと変化していくがまくんの心の動きを音読を取り入れながら想像させる。 ・がまくんの喜ぶ姿を見て、かえるくんも幸せな気持ちになったことに気付かせる。
<p>27分</p>	<p>6 二人の幸せな気持ちを想像する。</p> <p>(1) なぜ、二人は幸せな気持ちになったのかを想像してわかりやすく吹き出しに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんの手紙をきっかけにして、二人が幸せな気持ちに変わっていったことを板書で振り返り、二人がどんな気持ちで手紙を待っているのかを想像して吹き出しに書かせる。 【教材文とのかかわり】 【具体の評価規準（方法）と指導の手立て】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんの手紙に感激したがまくんとがまくんを思うかえるくんの二人の気持ちを想像して書いている。(吹き出し) <p>(例)</p> <p>がまくん： ・はじめてお手紙がもらえる。うれしいな。かえるくん、ありがとう。 ・かえるくんが親友と思ってくれてうれしいな。</p> <p>かえるくん： ・がまくんが喜んでくれてうれしいな。手紙を書いてよかったな。</p> </div>
<p>課題解決</p>		

10分	<p>(2) 二人の幸せな気持ちについて書いたことを発表する。</p> <p>(3) 読み取ったことをもとに音読する</p>	<p>・ぼくの気持ちがわかってもらえた。</p> <p>・二人の幸せな気持ちを想像して書くことができた子どもには、主述に気をつけさせながら文章を見直させる。</p> <p>・なかなか書くことができない子どもには、がまくんが手紙をもらったことを知ったときの驚きの言葉や挿絵に着目させる。</p> <p>・子どもの発表を通して、かえるくんの手紙には、がまくんを思う気持ちがたくさん込められていること、その気持ちががまくんに伝わったことにより二人の友情がより深まったことに気付かせる。</p> <p>・学習を振り返りながら、音読する。(役割読み)</p>
まとめ 3分	<p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<p>・自分の考えが深まった点や友達の考えから学んだ点、感想等を発表させる。</p> <p>・次時は「お手紙をもらったがまくんはどんな気持ちになったか」を読み取ることを確認する。</p>